

受 付 印

固定資産税減額 バリアフリー改修住宅申告書

令和 年 月 日

横須賀市長 様

申告者 住所(所在)  
氏名(名称) (印)  
(法人は代表者印を押印してください/個人は押印不要です)  
個人番号(法人番号)  
(納税義務者) 電 話 ( ) -  
代理人 住所(所在)  
氏名(名称) (印)  
(法人は代表者印を押印してください/個人は押印不要です)  
電 話 ( ) -

次のとおり、バリアフリー改修工事に伴う固定資産税減額措置の適用について  
申告をします。

改修住宅の内訳	所在地	横須賀市		家屋番号	
	種類(用途)		構造	持家の区分	<input type="checkbox"/> 一戸建 <input type="checkbox"/> マンション
	床面積		m <sup>2</sup>	居住床面積	m <sup>2</sup>
	建築年月日		改修工事完了年月日		
	改修工事費用	改修工事費用 _____ 円 - 給付・補助金額 _____ 円		= 自己負担金額 _____ 円	
	*補助金等を除く自己負担金額が50万円を超えるものが対象となります。				

住宅部分の床面積に対し人の居住の用に供する床面積の割合が1/2以上であり、貸家の用に供していない

[3ヶ月以内に提出できなかった理由] (工事完了日から3ヶ月以内に提出できなかった場合のみご記入ください。)

改修工事 を必要 とした方	氏名 (生年月日)	( 年 月 日)	該当区分 (複数可)	<input type="checkbox"/> 65歳以上の者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 要介護、要支援認定者
	住所	<input type="checkbox"/> 申告者と同じ		

- その他
- ①減額は、当該住宅に係る固定資産税(100m<sup>2</sup>相当分)について翌年度分に限り3分の1を減額。
  - ②新築住宅特例や耐震改修特例の対象となっている年度には適用されません。
  - ③バリアフリー減額措置は一戸について一回限りとなります。
  - ④必要によっては、職員が現地調査を行う場合があります。
  - ⑤当該住宅が貸家の用に供している場合は、適用されません。
  - ⑥床面積要件:改修後の住宅の床面積が50m<sup>2</sup>以上
  - ⑦新築された日から10年以上を経過した住宅

課長	係長	担当者	以上の住宅は、バリアフリー改修住宅と認められるので、固定資産税を減額(地方税法附則第15条の9適用)してよろしいか。

## 添付書類（地方税法施行規則附則第7条第8項の規定に基づく書類）

- 納税義務者の住民票の写し(横須賀市内に居住している方は不要)
- 改修工事に係る明細書・改修工事箇所の写真・改修工事費用の領収書、または改修工事が行われた旨を証する書類(建築士、指定確認検査機関、登録住宅性能評価機関または住宅瑕疵担保責任保険法人が証明)
- 住宅改造補助金交付及び介護保険給付金の決定(確定)通知書等の写し
- 該当する区分に応じた書類
  - ・ 65歳以上の高齢者 ……………住民票の写し(横須賀市内に居住している方は不要)
  - ・ 要介護及び要支援認定者……介護保険の被保険者証の写し
  - ・ 障害者 ……………身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳等の写し

## 記入方法

- ① 申告者(納税義務者)の欄には、バリアフリー改修工事に伴う減額措置の適用を受ける家屋の納税義務者の住所または所在及び氏名または名称及び電話番号を記入し押印してください。
- ② 代理人の欄には、納税義務者が法人の場合は法人を代表して申告する人、その他の代理人の場合は、その代理人の住所、氏名及び電話番号を記入し押印してください。  
なお、法人又は代理人の場合は、納税義務者からの委任状を添付してください。
- ③ 住宅の内訳欄には、所在地・家屋番号・種類(用途)・構造・持家の区分・床面積・居住床面積・建築年月日・改修工事完了年月日・改修工事費用をそれぞれ記入してください。

### 記入例

改修住宅の内訳	所在地	横須賀市〇〇町〇-〇〇-〇			家屋番号	〇〇〇
	種類(用途)	専用住宅	構造	木造	持家の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建 マンション
	床面積	100.50 m <sup>2</sup>		居住床面積	100.50 m <sup>2</sup>	
	建築年月日	〇年〇月〇日		改修工事完了年月日	〇年〇月〇日	
	改修工事費用	改修工事費用 1,000,000 円		給付・補助金額	400,000 円	
				= 自己負担金額	600,000 円	
*自己負担金額が50万円を超えるものが対象となります。						
<input checked="" type="checkbox"/> 住宅の床面積に対し人の居住の用に供する部分の床面積の割合が1/2以上であり、貸家の用に供していない。						

- ④ 改修工事を必要とした方の欄には、申告要件を満たす方(改修工事完了後の1月1日において65歳以上の者、要介護又は要支援の認定を受けている者、障害者等)の氏名・該当する区分(該当する区分が複数ある場合には全てにチェック)・住所をそれぞれ記入してください。

### 記入例

改修工事が必要とした方	氏名	横須賀 太郎	該当区分	<input checked="" type="checkbox"/> 65歳以上の者	<input type="checkbox"/> 障害者
	(生年月日)	(S17年1月1日)	(複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 要介護、要支援認定者	
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申告者と同じ		*申告者の住所と違う場合のみ記入してください。	

## 改修工事の内容

- ① 廊下などの拡幅
- ② 階段の勾配の緩和
- ③ 浴室改良
- ④ 便所改良
- ⑤ 手すりの設置
- ⑥ 床の段差の解消
- ⑦ 出入口の戸の改良
- ⑧ 床表面の滑り止め化

問い合わせ先

横須賀市税務部資産税課

TEL (046) 822-8198~8200